５　キャッシュ・フロー計算書について

本市下水道事業のキャッシュ・フロー計算書の状況は、次のとおりである。

（単位：千円）

	令和5年度	令和4年度	増減額
1　業務活動によるキャッシュ・フロー			
当年度純利益	761,011	707,958	53,053
減価償却費	3,981,529	3,932,951	48,578
退職給付引当金の増減額（△は減少）	28,692	23,500	5,192
賞与引当金の増減額（△は減少）	1,896	△ 1,056	2,952
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△ 1,520	92	△ 1,612
長期前受金戻入額	△ 2,212,787	△ 2,189,789	△ 22,998
支払利息及び企業債取扱諸費	782,886	761,639	21,247
固定資産除却損	14,165	20,354	△ 6,189
過年度損益修正損	557	－	557
災害による損失	5,568	－	5,568
減損損失	24,267	－	24,267
未収金の増減額（△は増加）	△ 273,997	706,676	△ 980,673
貯蔵品の増減額（△は増加）	955	△ 329	1,284
未払金の増減額（△は減少）	△ 136,719	△ 2,222	△ 134,497
預り金の増減額（△は減少）	△ 289	△ 5,657	5,368
小　計	2,976,214	3,954,117	△ 977,903
支払利息及び企業債取扱諸費の支払額	△ 736,683	△ 761,639	24,956
業務活動によるキャッシュ・フロー	2,239,531	3,192,478	△ 952,947
2　投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 5,350,093	△ 8,525,343	3,175,250
国庫補助金等による収入	1,892,478	3,696,101	△ 1,803,623
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,457,615	△ 4,829,242	1,371,627
3　財務活動によるキャッシュ・フロー			
一時借入れによる収入	2,000,000	2,700,000	△ 700,000
一時借入金の返済による支出	△ 2,000,000	△ 2,700,000	700,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	4,324,500	1,104,500	3,220,000
その他の企業債による収入	154,600	179,400	△ 24,800
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 2,899,934	△ 3,177,845	277,911
その他の企業債の償還による支出	△ 412,574	△ 535,406	122,832
企業債前借による収入	－	3,747,100	△ 3,747,100
他会計からの繰入による収入	485,251	501,703	△ 16,452
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,651,843	1,819,452	△ 167,609
資金増加額（又は減少額）	433,759	182,688	251,071
資金期首残高	2,043,411	1,860,723	182,688
資金期末残高	2,477,170	2,043,411	433,759

キャッシュ・フロー計算書では、決算対象期間における現金及び預金の増減状況が、３つの活動区分におけるキャッシュ・フロー（ＣＦ）で表される。

企業債の借入額が償還額を上回ったため、財務活動によるキャッシュ・フローがプラスとなっている。投資活動のための資金が本来の業務活動による資金に対して不足するので、財務活動による資金で調達している状態である。

資金期末残高は、前年度に比べて 4 億 3,375 万 9 千円増加し、24 億 7,717 万円となった。